

FP工法は、柱状地盤改良体に鋼管を立て込み、均しコンクリートを打設、地上部に突出した鋼管部にコンクリートパネルをセットし、自立式擁壁を構築する、という手順で作業を行います。パネル側面にはテーパがついているため、約20mRのカーブ施工ができ、鋼管杭の上部は基礎ブロックの代わりになるので、ガードフェンス等の設置も簡単です。

③鋼管立て込み



④均しコンクリート打設



■施工機械



■プラント



施工実績 ④



掘削幅が狭くて済むから、通行止めをせずに道路の工事ができる(埼玉県北葛飾郡庄和町倉常)